



デイケア通信 ~2月号~

例年になく、雪がよく降りましたが、少しずつ日も長くなり冬の終わりが感じられるようになりましたね。

デイケア学校の様子

調理教室



一足遅いバレンタインデーとなりましたが、食べる楽しみを引き出すことを目的に2月14日・17日・19日にチョコレート作りをしました。

板状のチョコレートを包丁ではなく、手で細かく砕いていただきました。砕いている途中、「そんな砕かんでも、口にほおりこめば溶けるでそのままちょうだいよ～」と言われる方もみえ、小さな一片を口にすると、とても嬉そうな顔をされていました。

砕いたチョコレートに温かい生クリームを加えて溶かし、少し冷まして、小さく丸めココアを振りかけたら、トリュフのできあがり。

甘いチョコレートにどなたも幸せそうな笑みを浮かべてみえました。



2月行事報告

2月15日・16日・18日に節分会を行いました。節分といえば“豆”ですが、硬くて食べづらいということもあり、代わりに鬼まんじゅうを作って食べることで、厄落としをすることにしました。ホットケーキの粉にさつま芋を混ぜたものを、カップに入れ蒸し上がる間鬼に扮した職員に丸めた新聞紙を投げて、鬼退治をしました。今年の鬼は例年になく気合いが入っており、迫力満点！みなさんカー杯鬼にめがけて投げてみえました。投げることに夢中になり、「鬼は外～。福は内～」というかけ声を忘れてしまうほどでした。

最後は赤鬼・青鬼と一緒に記念写真を撮りました。中には鬼のかつらを被って写真を撮られている方もみえました。

楽しく過ごすうちに鬼まんじゅうもできあがり、好きな飲み物と一緒においしく食べていただきました。



3月の行事予定

日時 3月15日(火)・16日(水)・18日(金)
内容 ひな祭り会
*施設内にてレクリエーションの一環として行います。



3月の床屋

日時 3月15日(火)・16日(水)
*ご希望の方は、理美容申込み書に記入して提出してください。

認知症の人を理解する手がかり？！

～要素5 環境～

認知症の方を取り巻く対人関係が、認知症の方の行動に与える影響は、とても大きいといわれています。

周囲の人が、「認知症になると何も分からなくなる。」という考えを持って、子供扱いやのけ者にしたり、嘘やごまかしをすることが日常的に行われているとします。認知症の方がまだ元気なうちは、不当な扱いに対して怒りや暴力などで表現されたりします。

認知症になり、つじつまの合わないことを言ったり、今したことを忘れてしまっても、感情やプライドは豊かに残っており、周囲の人が自分のことをどのように思っているかを敏感に感じ取ることはできます。そのことを念頭においておくと、いろいろな困った場面に使えます。

また、最近では寒い・暑い・臭いなどの物理的な環境も重視されています。

～たとえばしばらくお風呂に入っていないから、そろそろ入って欲しいがどうしたら入ってもらえるだろうか？～

していけないことは「しばらくお風呂に入っていないから、いいかげんに入ってよ。」や「服が汚れているから、着替えましょ。」など、認知症の方にとって気分を害する言葉がけをすると、「お風呂には昨日入ったから入らない。」や「自分で服を着替えるからいい。」と強く拒否をされることが多いです。

「今日は寒いねえ。お風呂を沸かしたけど、入らない？身体も温まるよ？」とか、「今日桜の香りがするお風呂にしてみたけど、入らない？」というように、お風呂に入りたくなるような、言葉かけをしてみてくださいはいかがでしょうか。

ご家族のみなさまへ

衣類・持ち物等には、必ずお名前の記入をお願いいたします。他の方の持ち物と間違えてしまう原因となりますので、今一度ご確認をお願いいたします。

お名前の記入がない物で紛失等の恐れがある場合には、こちらでお名前を書かせていただくこともあると思いますので、ご理解・ご協力を頂きたいと思っております。

